

「福祉とジェンダー ～個々の特性を活かすために～」 健康福祉部職員研修の開催について

ジェンダー（「男らしさ」「女らしさ」「こうあるべき」といった文化的・社会的に構築された性差）やアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）は、個人だけでなく組織にも悪影響を及ぼします。現代社会において、多様性を活かした組織づくりは必要不可欠であり、個々の特性を活かしモチベーションを維持していくことは、市民サービスの向上にも繋がります。また「決めつけ」「押しつけ」は気づかないうちに相手を傷つけ、苦しめているかも知れません。こうした気づきを学ぶことは、福祉サービスの向上にも繋がると考え、健康福祉部において研修会を開催します。

つきましては、ご多忙中のところ恐れ入りますが、取材・報道していただきますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 令和7年12月11日（木）午後2時～午後3時30分
2. 会場 浜松市役所 北館 101 会議室
3. 講師 特定非営利活動法人 浜松男女共同参画推進協会 理事長 道喜 道恵氏
4. 対象 健康福祉部（本庁、中央・浜名・天竜福祉事業所）で職員をマネジメントする立場の職員16名
5. 内容

講義：ジェンダー平等に対する正しい知識や理解
パワハラにならない言葉の使い方、多様な価値観への理解等
ワーク：アンコンシャス・バイアスの気づき
かるたを通して日常に潜む思い込みを知る